

# 各級・各領域で測る日本語力

	全体	敬語	文法	語彙	言葉の意味	表記	漢字	総合問題
1級	<p>【<b>高度な日本語を扱う職務や役割にふさわしい日本語力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学術用語から古語を含む文学的表現まで、さまざまな語彙や言い回しに精通し、口頭と文章の両面において、場面に応じた的確かつ効果的な表現や、優れて論理的な表現ができる。</li> <li>・さまざまな分野の専門的な文章を概観理解することができる。</li> <li>・書かれていることの整合性や妥当性を評価することができる。また、書き手の意図を解釈したうえで、読み取ったことを個人あるいは集団の問題解決や意思決定に生かすことができる。</li> <li>・記者や編集者、研究者などとして、高度な日本語を扱うことを職務とする能力がある。</li> </ul>	<p>【<b>深い教養と他者への思いやりに溢れる、格調高い敬語を使いこなす力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる場面や文脈、相手に応じて、形式上適切な敬語を使用できることは言うまでもなく、懇懇無礼にならず、相手や周囲の心情を十分に慮った表現ができる。</li> <li>・「ご同慶の至り」「汗顔の至り」等、改まった文書や会話に特有の表現に幅広く精通し、口頭と文章の両面において格調高い表現ができる。</li> </ul>	<p>【<b>高度で複雑な内容を明解な文章で書ける文法力と、学術的な文法の知識</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長く複雑な文章においても、主語と述語、修飾・被修飾の関係等、文法的な整合性に十分に留意して、矛盾や破綻、誤解の恐れのない論理的な表現ができる。</li> <li>・日本語の文法に高い関心と、ある程度の学術的な会話に特有の表現に幅広く精通し、口頭と文章の両面を分析することができる。</li> </ul>	<p>【<b>高度な日本語を扱う職務や役割にふさわしい語彙力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古語を含むさまざまな語彙を、各語の構成や用法などに着目し関連付けながら習得している。</li> <li>・文語的な慣用句や古語を含む文学的表現など、さまざまな言い回しに精通し、的確に使用することができる。</li> </ul>	<p>【<b>高度な日本語を扱う職務や役割にふさわしい言葉の運用力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学術用語から古語を含む文学的表現まで、さまざまな言葉や言い回しに精通している。読んだり聞いたりして意味を理解できるだけでなく、発話または文章作成においても、場面や文脈に応じた的確かつ効果的に使用することができる。</li> </ul>	<p>【<b>特殊な漢字を含む諸々の漢字を適切に使い分けられる力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常用外や、漢籍に用いられるような特殊なものも含め、さまざまな同音・同訓および字形の類似した漢字に精通し、文脈に応じた適切な表記ができる。</li> </ul>	<p>【<b>特殊な漢字を含む諸々の漢字を読み書きする力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常用漢字は言うまでもなく、常用外の漢字や、漢籍に用いられるような特殊な漢字にも幅広く精通し、適切に読み書きできる。</li> </ul>	<p>【<b>高度で難解な文章を読み解き、評価・判断する力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最新の時事用語から、かなり専門的な学術用語、古語に至るまで、難解な言葉も多く用いた高度な内容の文章を読んで、各文の意味のみならず、全体の論理展開を理解し、その整合性や妥当性を評価することができる。また、書き手の意図を解釈したうえで、文章から読み取った情報、思考や視点などを、個人あるいは集団の問題解決や意思決定に生かすことができる。</li> </ul>
2級	<p>【<b>自らの教養と社会的信用を高めるために必要な日本語力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公私を問わず知的な活動を行うために必要な語彙や言い回しを習得し、口頭と文章の両面において、場面に応じた適切かつ的確な表現や、論理的な表現ができる。</li> <li>・常用外の漢字の知識も豊富で、新聞の社説、自分の専門分野に関する学術論文など、高度な内容の文章を理解することができる。</li> <li>・書かれていることの整合性や妥当性を評価することができる。また、書き手の意図を解釈したうえで、読み取ったことを自身の判断に生かすことができる。</li> </ul>	<p>【<b>さまざまなビジネスシーンに対応して、多様な敬語を適切に運用する力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「敬語の指針」の内容を全て理解し、さまざまな場面や文脈、相手に応じた適切な敬語を使用することができる。</li> <li>・「敬語の指針」(文化庁)のリンク</li> <li>・「お(ご)～になられる」「おっしゃられる」等の二重敬語や、「お(ご)～される」等の規範的でない言い方を避け、適切な尊敬表現ができる。</li> <li>・「伺う」等の謙譲語Ⅰと、「参る」等の謙譲語Ⅱを明確に区別し、動作の向かう先や立てるべき相手に留意して、適切な謙譲表現ができる。</li> <li>・「ご厚直」「ご清祥」「ご紹介にあずかる」等、改まった文書や会話に用いられる語句について幅広い知識を持ち、適切に使用することができる。</li> </ul>	<p>【<b>説得力のある企画書・報告書などが書ける文法力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ある程度長く複雑な文においても、主語と述語、修飾・被修飾の関係等に十分に留意して、意図した内容が正確に伝わる、ある程度長い文を作ることができる。</li> <li>・動詞や助動詞、補助動詞などの用法を十分に理解し、文脈に応じて適切に使い分けすることができる。</li> </ul>	<p>【<b>自らの教養と社会的信用を高めるために必要な語彙力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公私を問わず知的な活動を行うために必要な語彙を、各語の構成や用法、語と語の間の意味的な関係などに着目し関連付けながら習得している。</li> <li>・「必修語彙リスト2級」のリンク</li> </ul>	<p>【<b>自らの教養と社会的信用を高めるために必要な言葉の運用力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文語的な表現を含め、公私を問わず知的な活動を行うために必要な言葉や言い回しを習得し、その意味や用法を理解したうえで、場面や文脈に応じて適切かつ的確に使用することができる。</li> <li>・「必修語彙リスト2級」のリンク</li> </ul>	<p>【<b>全ての常用漢字を適切に使い分けられる力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常用漢字の範囲内で、同音異義語、同訓異字、字形類似について豊富な知識を持ち、文脈に応じた適切な表記ができる。</li> <li>・「必修語彙リスト2級」のリンク</li> <li>・「常用漢字表」(文化庁)のリンク</li> </ul>	<p>【<b>常用外を含むさまざまな漢字を読み書きする力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常用漢字に加え、常用外の漢字についても豊富な知識を持ち、適切に読み書きできる。</li> <li>・「必修語彙リスト2級」のリンク</li> </ul>	<p>【<b>高度な文章を読み解き、評価・判断する力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時事的あるいは学術的な、高度な内容の文章を読んで、各文の意味のみならず、全体の論理展開を理解し、その整合性や妥当性を評価することができる。また、書き手の意図を解釈したうえで、文章から読み取った情報、思考や視点などを、自身の判断に生かすことができる。</li> </ul>
3級	<p>【<b>大学での研究活動やビジネスに必須の日本語力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学での研究活動やビジネスに必要な最低限の語彙や言い回しを習得し、口頭と文章の両面において、場面に応じた適切な表現や、論理的な表現ができる。</li> <li>・常用漢字を全て習得し、報道記事など、ある程度高度な内容の文章を理解することができる。</li> <li>・書かれていることの整合性や妥当性を評価することができる。また、目的に応じた情報収集を行い、読み取ったことを自身の判断に生かすことができる。</li> </ul>	<p>【<b>就職活動やビジネスに必須の敬語を適切に運用する力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「敬語の指針」の概要を踏まえ、場面や文脈、相手に応じ、尊敬語・謙譲語・丁寧語を混同することなく適切に使用することができる。</li> <li>・「敬語の指針」(文化庁)のリンク</li> <li>・「お(ご)～になられる」「おっしゃられる」等の二重敬語や、「お(ご)～される」等の規範的でない言い方を避け、適切な尊敬表現ができる。</li> <li>・「伺う」等の謙譲語Ⅰと、「参る」等の謙譲語Ⅱを明確に区別し、動作の向かう先や立てるべき相手に留意して、適切な謙譲表現ができる。</li> <li>・「拜啓/敬具」等、改まった文書に用いられる語句について、大学生・社会人として必要な最低限の知識を持ち、適切に使用することができる。</li> </ul>	<p>【<b>正確なレポートや論文を書くために必須の文法力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主語と述語、修飾・被修飾の関係等に留意して、意図した内容が正確に伝わる、ある程度長い文を作ることができる。</li> <li>・語の品詞を正確に理解し、後の語に適切に接続させることができる。</li> <li>・「可能の助動詞「られる」や可能動詞を用いて、「(ら)抜き」や「れ足す」でない適切な可能表現ができる。</li> <li>・「使役の助動詞「せる」「させる」を用いて、「(さ)入れ」でない適切な使役表現ができる。</li> </ul>	<p>【<b>大学での研究活動やビジネスに必須の語彙力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学での研究活動やビジネスに必要な最低限の語彙を、類義語・対義語、上位語・下位語など、語と語の間の意味的な関係に着目し、関連付けて習得している。</li> <li>・「必修語彙リスト3級」のリンク</li> </ul>	<p>【<b>大学での研究活動やビジネスに必須の言葉の運用力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やや文語的な表現を含め、大学での研究活動やビジネスに必要な最低限の言葉や言い回しを習得し、その意味や用法を理解したうえで、場面や文脈に応じて適切に使用することができる。</li> <li>・「必修語彙リスト3級」のリンク</li> </ul>	<p>【<b>常用漢字の使い分けや送り仮名の付け方、応用的な仮名遣いが適切にできる力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常用漢字の範囲内で、代表的な同音異義語、同訓異字、字形類似の知識を踏まえ、文脈に応じた適切な表記ができる。</li> <li>・「必修語彙リスト3級」のリンク</li> <li>・「常用漢字表」(文化庁)のリンク</li> <li>・「現代仮名遣い」や「送り仮名の付け方」の通則を踏まえた適切な表記ができる。</li> <li>・「現代仮名遣い」(文化庁)のリンク</li> <li>・「送り仮名の付け方」(文化庁)のリンク</li> </ul>	<p>【<b>全ての常用漢字を読み書きする力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常用漢字の音訓を全て習得し、適切に読み書きできる。</li> <li>・「必修語彙リスト3級」のリンク</li> <li>・「常用漢字表」(文化庁)のリンク</li> </ul>	<p>【<b>ある程度高度な文章や、複雑な表・グラフなどの資料を読み解く力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見文や評論文など、ある程度高度な内容の文章を読んで、各文の意味のみならず、全体の論理展開を理解し、その整合性や妥当性を評価することができる。また、文章に書かれていること、目的や必要とされた情報を収集し、自身の判断に生かすことができる。</li> <li>・社会的なテーマに関する調査結果等の、ある程度複雑な表やグラフなどと、それに基づく文章を関連づけ、資料に示された事実と文章の論理展開との整合性を評価することができる。</li> </ul>
4級	<p>【<b>高校での学習活動や地域社会での生活に必須の日本語力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校での学習活動や、学校の枠を超えた地域社会での生活に必要な語彙や言い回しを習得し、口頭と文章の両面において、相手と場面に応じた丁寧な表現や、言葉の意味と用法を踏まえた適切で論理的な表現ができる。</li> <li>・中学校卒業までに学ぶ漢字を用いた、ある程度長く複雑な文章を読んで理解することができる。</li> <li>・目的に応じて、複数の情報を関連付けながら読むことができる。また、書かれていることについて多角的・多面的に考えることができる。</li> </ul>	<p>【<b>地域社会での生活に必須の敬語の知識を踏まえ、適切な言葉遣いができる力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尊敬の助動詞「れる」「られる」、尊敬語の一般形「お(ご)～になる/くださる」、尊敬語の特定形「なさる」「おっしゃる」等を用いて、「二重敬語でない」適切な尊敬表現ができる。</li> <li>・謙譲語の一般形「お(ご)～する/いただく」、謙譲語の特定形「申す」「申し上げる」等を用いて、適切な謙譲表現ができる。</li> <li>・上記に加え、尊敬語「おっしゃる」「いらっしゃる」「くださる」、謙譲語「申す」「参る」「いただく」等の代表的な特定形を、動作の主体や話している相手、場面等に応じて使用し、年長者や初対面の人とも適切にやりとりすることができる。</li> <li>・「敬語の指針」(文化庁)のリンク</li> </ul>	<p>【<b>小論文などを書くために必須の文法力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主語と述語、修飾・被修飾の関係等に留意して、意図した内容が正確に伝わる文を作ることができる。</li> <li>・後に続く語に応じて、形容詞や形容動詞を適切に活用させることができる。</li> <li>・「可能の助動詞「られる」や可能動詞を用いて、「(ら)抜き」や「れ足す」でない適切な可能表現ができる。</li> <li>・「使役の助動詞「せる」「させる」を用いて、「(さ)入れ」でない適切な使役表現ができる。</li> </ul>	<p>【<b>高校での学習活動や地域社会での生活に必須の語彙力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校での学習活動や、学校の枠を超えた地域社会での生活に必要な語彙を、類義語・対義語、上位語・下位語など、語と語の間の意味的な関係に着目し、関連付けて習得している。</li> <li>・「必修語彙リスト4級」のリンク</li> </ul>	<p>【<b>高校での学習活動や地域社会での生活に必須の言葉の運用力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校での学習活動や地域社会での生活に必要な言葉や言い回しを習得し、その意味や用法を理解したうえで、適切に使用することができる。</li> <li>・「必修語彙リスト4級」のリンク</li> </ul>	<p>【<b>中学校卒業までに学ぶ漢字の使い分けや送り仮名の付け方、応用的な仮名遣いが適切にできる力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校卒業までに学ぶ漢字の範囲内で、基本的な同音異義語、同訓異字、字形類似の知識を踏まえ、文脈に応じた適切な表記ができる。</li> <li>・「必修語彙リスト4級」のリンク</li> <li>・「常用漢字表」(文化庁)のリンク</li> <li>・「現代仮名遣い」や「送り仮名の付け方」の通則を踏まえた適切な表記ができる。</li> <li>・「現代仮名遣い」(文化庁)のリンク</li> <li>・「送り仮名の付け方」(文化庁)のリンク</li> </ul>	<p>【<b>中学校卒業までに学ぶ漢字を読み書きする力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校卒業までに学ぶ漢字の音訓(高校で学ぶ読みを除く)を習得し、適切に読み書きできる。</li> <li>・「必修語彙リスト4級」のリンク</li> <li>・「常用漢字表」(文化庁)のリンク</li> </ul>	<p>【<b>ある程度長く複雑な文章や、表・グラフなどの資料を読み解く力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的なテーマに関する、ある程度長く複雑な文章を読んで、各文の意味のみならず、全体の論理展開を理解することができる。また、文章に書かれている複数の情報を目的に応じて関連付け、自分なりに多角的・多面的に考えることができる。</li> <li>・社会的なテーマに関する調査結果等の表やグラフなどと、それに基づく文章を関連づけ、資料に示された事実と文章の論理展開を把握することができる。</li> </ul>
5級	<p>【<b>中学校での学習活動や日常生活に必須の日本語力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活にとどまらず、中学校での学習活動に必要な語彙や言い回しを習得し、学習内容について他者に説明したり、意見を表明したりすることができる。</li> <li>・相手と場面に応じて最低限の敬語を使用することができる。</li> <li>・小学校卒業までに学ぶ漢字を用いた、ある程度長い文章を目的に応じて読み、理解することができる。</li> <li>・文章を俯瞰的に読み、その構成や表現の工夫について考えることができる。</li> </ul>	<p>【<b>中学生にふさわしい敬語の知識を踏まえ、適切な言葉遣いができる力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尊敬の助動詞「れる」「られる」、尊敬語の一般形「お(ご)～になる」を用いて、適切な尊敬表現ができる。</li> <li>・謙譲語の一般形「お(ご)～する」を用いて、適切な謙譲表現ができる。</li> <li>・上記に加え、尊敬語「おっしゃる」「いらっしゃる」「くださる」、謙譲語「申す」「参る」「いただく」等の代表的な特定形を、動作の主体や話している相手、場面等に応じて使用し、年長者や初対面の人とも適切にやりとりすることができる。</li> <li>・「敬語の指針」(文化庁)のリンク</li> </ul>	<p>【<b>ある程度長い文章が書ける文法力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主語と述語、動作と対象、原因と結果、時制などの対応に留意して、適切に意味の通る文を作ることができる。</li> <li>・文章の展開や表現意図に応じて、適切な接続語や副詞を使用することができる。</li> <li>・「可能の助動詞「られる」や可能動詞を用いて、「(ら)抜き」や「れ足す」でない適切な可能表現ができる。</li> </ul>	<p>【<b>中学校での学習活動や日常生活に必須の語彙力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活にとどまらず、中学校での学習活動に必要な語彙を、類義語・対義語、上位語・下位語など、語と語の間の意味的な関係に着目し、関連付けて習得している。</li> <li>・「必修語彙リスト5級」のリンク</li> </ul>	<p>【<b>中学校での学習活動や日常生活に必須の言葉の運用力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活にとどまらず、中学校での学習内容について他者に説明したり、意見を表明したりするのに必要な言葉や言い回しを習得し、その意味や用法を理解したうえで、適切に使用することができる。</li> <li>・「必修語彙リスト5級」のリンク</li> </ul>	<p>【<b>中学校卒業までに学ぶ漢字の使い分けや送り仮名の付け方、基本的な仮名遣いが適切にできる力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校卒業までに学ぶ同音・同訓および字形の類似した漢字の知識を踏まえ、文脈に応じた適切な表記ができる。</li> <li>・「必修語彙リスト5級」のリンク</li> <li>・「学年別漢字配当表(1～6年次)」のリンク</li> <li>・小学校卒業までに学ぶ漢字について、適切な送り仮名を付けることができる。</li> <li>・基本的な言葉や言い回しについて、適切な仮名遣いができる。</li> </ul>	<p>【<b>中学校卒業までに学ぶ漢字を読み書きする力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校卒業までに学ぶ漢字の音訓(中学校以上で学ぶ読みを除く)を習得し、適切に読み書きできる。</li> <li>・「必修語彙リスト5級」のリンク</li> <li>・「学年別漢字配当表(1～6年次)」のリンク</li> </ul>	<p>【<b>ある程度長い文章や、表・グラフなどの資料を読み解く力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なテーマに関する、ある程度長い文章を読んで、(指示語の内容を含めた)各文の意味や事実関係を理解することができる。また、段落構成や表現の工夫を俯瞰的に評価したりすることができる。</li> <li>・身近なテーマに関する調査結果等の表やグラフなどと、それに基づく文章を関連づけ、資料に示された事実と文章の趣旨を理解することができる。</li> </ul>
6級	<p>【<b>小学校高学年での学習活動や日常生活に必須の日本語力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な語彙や言い回しを用いて、身近な物事について説明したり、意見を表明したりすることができる。</li> <li>・小学校4年次までに学ぶ漢字を用いた、簡単な文章を読んで理解することができる。</li> <li>・文章の構成等から、書き手の意図を読み取ることができる。</li> </ul>	<p>【<b>小学生レベルより一般上の敬語の知識を踏まえ、適切な言葉遣いができる力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尊敬語「くださる」、謙譲語「いただく」等の基本的な特定形を、動作の主体や話している相手に応じて、適切に使用することができる。</li> <li>・年長者と話すときや、大勢の人の前で話すときなどに、「です」「ます」等のごく基本的な丁寧語を用いて、適切な表現ができる。</li> </ul>	<p>【<b>簡単な文章が書ける文法力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主語や時制に対応する文末表現を用いて、適切に意味の通る文を作ることができる。</li> <li>・「可能の助動詞「られる」や可能動詞を用いて、「(ら)抜き」や「れ足す」でない適切な可能表現ができる。</li> </ul>	<p>【<b>小学校高学年での学習活動や日常生活に必須の語彙力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な物事について説明したり、意見を表明したりするのに必要な基本的な語彙を、類義語・対義語・上位語・下位語など、語と語の間の意味的な関係に着目し、関連付けて習得している。</li> <li>・「必修語彙リスト6級」のリンク</li> </ul>	<p>【<b>小学校高学年での学習活動や日常生活に必須の言葉の運用力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な物事について説明したり、意見を表明したりするのに必要な基本的な言葉や言い回しを習得し、その意味や用法を理解したうえで、適切に使用することができる。</li> <li>・「必修語彙リスト6級」のリンク</li> </ul>	<p>【<b>小学校4年次までに学ぶ漢字の使い分けや送り仮名の付け方、基本的な仮名遣いが適切にできる力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校4年次までに学ぶ同音・同訓および字形の類似した漢字の知識を踏まえ、文脈に応じた適切な表記ができる。</li> <li>・「学年別漢字配当表(1～4年次)」のリンク</li> <li>・小学校4年次までに学ぶ漢字について、適切な送り仮名を付けることができる。</li> <li>・基本的な言葉や言い回しについて、適切な仮名遣いができる。</li> </ul>	<p>【<b>小学校4年次までに学ぶ漢字を読み書きする力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校4年次までに学ぶ漢字の音訓(小学校5年次以上で学ぶ読みを除く)を習得し、適切に読み書きできる。</li> <li>・「必修語彙リスト6級」のリンク</li> <li>・「学年別漢字配当表(1～4年次)」のリンク</li> </ul>	<p>【<b>簡単な文章や資料を読み解く力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な物事に関する簡単な文章を読んで、(指示語の内容を含めた)各文の意味や事実関係を理解することができる。また、段落構成等から、書き手の意図を読み取ることができる。</li> <li>・小学生向けのイベント等に関する掲示物や配布物などの内容を的確に理解し、自身の判断に生かすことができる。</li> </ul>
7級	<p>【<b>小学校中学年での学習活動や日常生活に必須の日本語力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごく基本的な語彙や言い回しを用いて、身近な物事を描写したり、自分の感想を表現したりすることができる。</li> <li>・小学校2年次までに学ぶ漢字を用いた、ごく簡単な文章を読んで理解することができる。</li> </ul>	<p>【<b>小学生にも求められる、ごく基本的な敬語の知識を踏まえ、適切な言葉遣いができる力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年長者と話すときや、大勢の人の前で話すときなどに、「です」「ます」等のごく基本的な丁寧語を用いて、適切な表現ができる。</li> </ul>	<p>【<b>ごく簡単な文章が書ける文法力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文脈に応じた格助詞を用いて、適切に意味の通る文を作ることができる。</li> </ul>	<p>【<b>小学校中学年での学習活動や日常生活に必須の語彙力と運用力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごく基本的な言葉(動詞・形容詞・副詞・助数詞等)を適切に用いて、身近な物事を描写したり、自分の感想を表現したりすることができる。</li> <li>・ごく基本的な語彙を、類義語・対義語、上位語・下位語など、語と語の間の意味的な関係に着目し、関連付けて習得している。</li> </ul>	<p>【<b>小学校2年次までに学ぶ漢字の読み書きや、ごく基本的な仮名遣いができる力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校2年次までに学ぶ漢字の音訓(小学校3年次以上で学ぶ読みを除く)を習得し、適切に読み書きできる。</li> <li>・「学年別漢字配当表(1～2年次)」のリンク</li> <li>・小学校2年次までに学ぶ同音・同訓および字形の類似した漢字の知識を踏まえ、文脈に応じた適切な表記ができる。</li> <li>・ごく基本的な言葉について、適切な仮名遣いができる。</li> </ul>	<p>【<b>ごく簡単な文章や資料を読み解く力</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な物事に関するごく簡単な文章を読んで、(指示語の内容を含めた)各文の意味や事実関係を理解することができる。また、文章の展開を踏まえて、適切な接続語を補うことができる。</li> <li>・時間割やカレンダーなどの内容を的確に理解し、日付や時刻等、時間について適切に表現することができる。</li> </ul>		

※7級では領域別の配点・採点は行っていないですが、出題の観点をご理解いただくため、上の表にはそれを大まかな領域別に示しています。